

守ろう！僕らの命！！

～南海トラフ地震に備えよう～



江口小 六年

たいさくくん

へりびちゃん

高知県防災センター
710やなせたかし

津波と地震について

地震・津波の

メカニズム

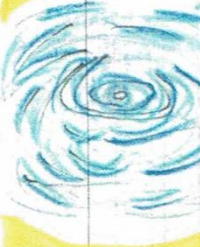
新 聞
 晴 藤 海 晴
 本 采 采 健 太
 久 川 日 某
 島 島 惠 菜
 大 西 果 穂
 岡 銅 大

地震がおこるしくみ

地震が起こるのは、地球の地面が動いていること、地球の表面はプレートとよばれるうすい板のような岩でおおわれています。

このプレートがぶつかる所では、一方のプレートがもう一方の下にもぐりこむという現象が起きています。

波紋のよに広がる!



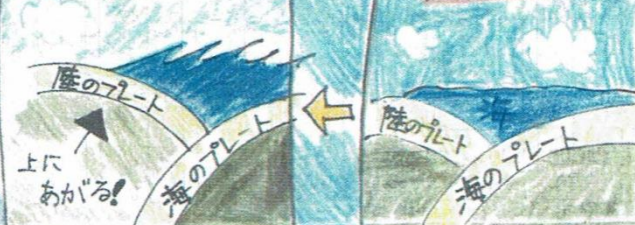
津波がおこるしくみ

日本は太平洋プレート・フィリピン海プレート、北欧プレート、ユーラシアプレートにかこまれています。

津波発生のようす

1. 地震によって海底がずれる
2. 海が盛り上がり波紋のよう広がる!
3. 津波がおそってくる!

地震時



プレートは8cmすつ一年にずれて、陸プレートが反発し、それにより地震がおこります。

南海大地震は30年以内に来る確率が90%なので、だから、いまでも津波からでも準備しておきましょう。

プレートは1年で8cm程ずれていくよ。



屋上へにげよう!

屋上の高さは、約12mです。

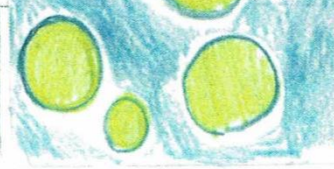


3階の高さは8m危険かも??

2階まで津波がくる!

エノロ小には2階まで津波がくることが予想されています。

エノロ小に津波はくるのか?



もし学校で地震が起きたら



もし学校で地震が起きたら

教室におきたら

・机の下にかくれる。
 ・ドアを開け出口を確保。
 ・低いしせいで頭を守り、動かない。
 ・ガラスなどが割れたりする物からはなれる。
 ・落下物がない場所にいるときはその場でしゃがんでおさまるのをまつ。

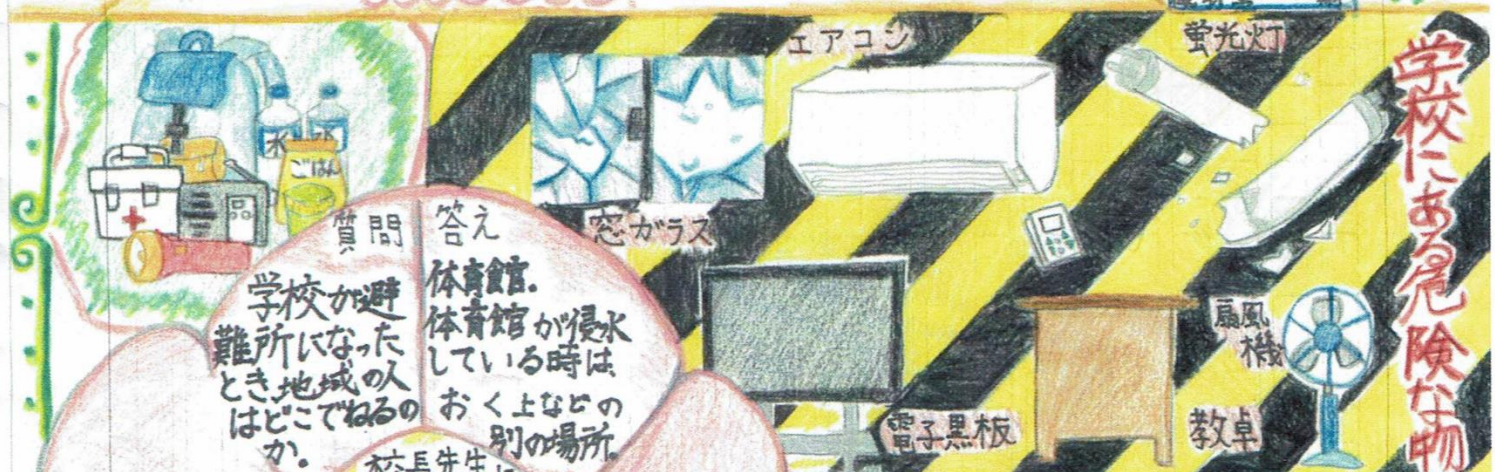
廊下にいるとき

・近くに教室がある場合は、教室にもどり机の下にかくれる。
 ・近くに教室がない場合は、横上から物がおちてこない場所から物がたおれてこない場所に移動する。
 ・低いしせいで持ち物や両手で頭をまもる。

グラウンドにいる時

- おさない
- かけない
- しゃべらない
- どらしない

6年 花新巻 江川 由希 安部 雅 佐藤 七海

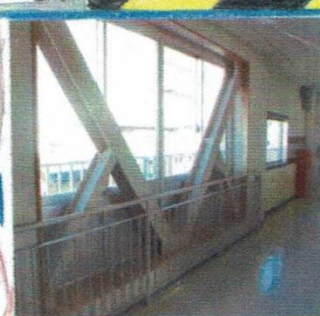


学校にも危険な物

質問 学校が避難所になったとき地域の方はどこでねるか。
 校長先生に
 答え 体育館。体育館が浸水している時は、おくよなどの別の場所。

質問 ペットは避難所につれていけるか。
 答え つれていける。ペットスペースがある。

質問 学校再開はどのくらいか。
 答え 地域の人がけしつてから。だいたい1年くらい。

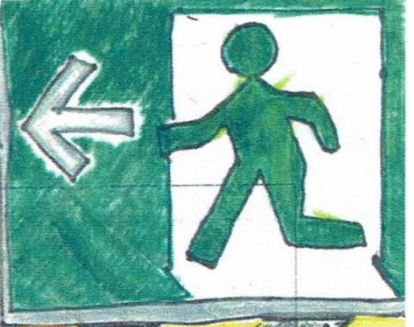


<耐震化>

公立小中学校の99%が耐震化を完了している。壁や柱接合部を強化することで建物の強度を上げる工夫。建物が倒壊する可能性が低くなる。

<防災倉庫>

自転車、おし車、はしご、ロープ、投光器、折りたたみ自転車、リヤカー、はしごなど。



家で地震がおきたら

新聞

六年 山崎 小葉 川中 竹
影 桐 中 政
井 井 井 井
松 田 田 田 田

もし、家で地震がおきたら どうするの？



もしキッチンで地震が...

地震がおきたら、まず頭を守り、揺れが収まるのを待ちましょう。地震の揺れが収まったら、落ちて着いて、ガスの元栓を閉めたり、電気ブレーカーを切るなど、火災防止の対策をしましょう。

もしお風呂やトイレで...

地震がおきたら、まず頭を守り、揺れが収まるのを待ちましょう。地震の揺れが収まったら、鏡などが落ちてないか確認し、追い炊きや自動スイッチを切り、ガスを止め、出火防止をしましょう。

お風呂から上がったらとにかく避難を優先し、バスタオルなどで体を包み、着替えをもって避難しましょう。



もし、寝室で...

地震がおきたら、布団をかぶり頭を守りましょう。そして揺れが収まるのを待ちましょう。

地震の揺れが収まったら、足元に注意しながら下を降り避難路を確保し、2階からあわてずにはぐり下に降りましょう。

もしリビングで...

地震がおきたら、テーブルやクッションなどで頭を守りましょう。窓や照明器具などのガラスの飛散に気を付け、落ちて着いて避難路を確保し、底の厚いスリッパや運動靴をはいて、安全な場所に避難しましょう。



家の中で...

安全な場所の
とくちよう
1. 落物・転倒物の
少ない場所
戸棚や照明器具は落下
や転倒し、避難経路が閉
ざされる場合があります。
2. 窓が少ない場所
窓がガラスは割れて飛び
散るリスクがあるので地震
がきたら、窓のそばから離
れましょう。

3. 閉じ込められな場所
ドアを開けて出口を
かくはみできる場所に避難
しましょう。



外出中に地震が起きたらどうする？

六年 江ノ小

外出中に地震が起きたら

新聞

〈名前〉 奈佳子 和子 綾子 橋本 高橋 武内 井川 早川 高松 高橋

デパート 大きな建物 ではない



もし下校中に地震が起これば、ランドセルやカバンで頭を守りましょう。くずれてきそうな建物やへいからはなれましょう。

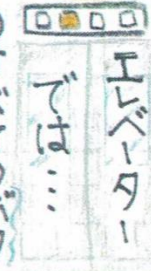
ゆれがおさまったらず元に気をつけながら自宅にもどるのではなく、すぐに安全な高台や学校などに避難するようにしましょう。



- ① すべてのボタンを押す
- ② 笛などで音を出し、助けを求めよう
- ③ 非常用備品ボックスを確認する



海からはなれ、高い所へすぐに避難する。



商品たなから離れ、低い姿勢で頭を守り、店員の指示に従って行動しましょう。



1. 道路の左側に車を停める
2. 揺れがおさまるまで待機
3. 車をそのまま駐車して避難する。



- 行動を決めておく
- ① いる場合
 - ② 海に近づかないで、すぐに安全な高い所へ避難する。

- ① の家や海の方へもどらず、すぐに高い所へ移動する。
- ② いる場合

いちごが大好きだよ!



天災は 忘れた頃に やって来る

寺田寅彦

江ノ小学校卒業生 高知県育ちの物理学者、文学者。X線や震災に関する研究を多く行った。また、文学者として「団栗」(ドングリ)などの優れた作品を数多く残している。

coffee

寺田寅彦



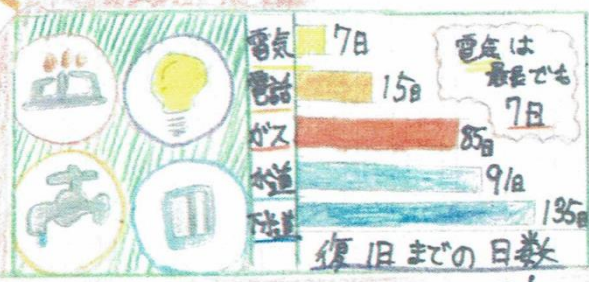
学校の正門に碑があるよ

私たちが生きていくのに必要な

ライフライン!

ライフラインって何だろう?

生活を支える ライフライン



ライフラインとは、電気・水・ガスなど生活に必要不可欠なもので、生かす命線ともいわれています。そして、一つでも欠けてしまうと生活が大変です。

人間の体には約60~70%の水が含まれているので、避難所に行くときに水を携帯していきなさい。

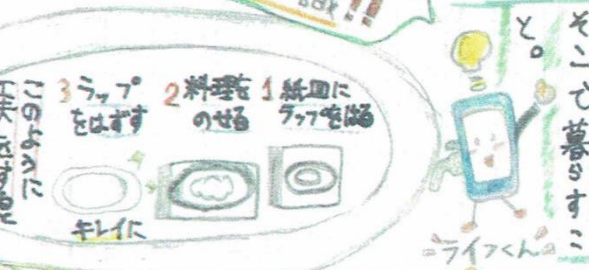
- 活に大きな影響をもたらし、
- 飯田 雅士
 - 清田 遠翔
 - 種村 心結
 - 上杉 佳奈
 - 松本 しほ

地震がおきたときには、電気がとまるので食べ物や水がなくなったりする。このように物は必要です。

なんと! 水は60%~70%含まれています。

避難生活

避難生活とは、災害に見舞われて住居を失い、避難所として開放された施設へ避難し、そこで暮らすこと。



避難所

避難時主流になる食事避難所の配給で配られるものは、保存性が高く配布しやすいおにぎりや菓子パン、お弁当、カップ麺など炭水化物が中心。栄養補給や塩分の摂りすぎにも注意する。

震災時の食に関するポイント

発災翌日~3日目	4日目~8日目	9日目~
東日本大震災	缶詰を食べる	おにぎり
	パン、ビスケット、お菓子	おにぎり
	おにぎり	おにぎり

避難所について

災害の危険があり避難した住民等が、必定期間滞在することです。津波避難ビルには、食料は、ありません。このような時には、避難ビル 335

避難してからの救助が来るまで、10日間かかる救命優先期間は、3日間救命救出は、約一週間



地震に備えて

いつ来るかわからない地震に備えておきましょう。



備蓄品・連絡方法

最低限の防災グッズ

- 水
- 非常食
- ラジオ
- ライト
- マスク
- 簡易トイレ
- ウエットティッシュ
- 現金
- タオル
- 身ぶく
- 証明書

リュックに入れてよう

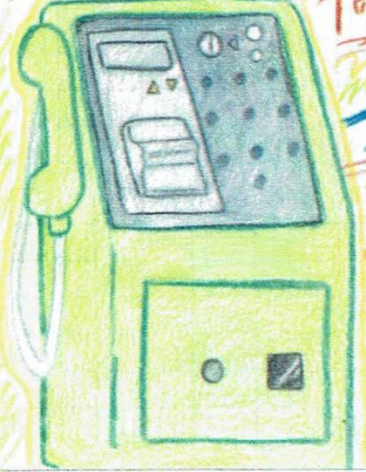
最低限の備蓄品

- アルファ米
- かんづめ
- シッキー
- 乾パン
- チョコ
- 介護食
- 水
- 3L x 3日分

家族との連絡方法

災害時に

優先的につながる!



スマホなどはつながりません

備蓄品にしよう



準備しよう

非常持ち出し品チェックシート

ポイント

- 出来る限り軽いものを準備しましょう。
- 寝室、玄関、車などに分けて保管しましょう。
- 一人一つリュックを準備しましょう。



項目	品名	重さ
必需品	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	300g
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	100g
	<input type="checkbox"/> 予備電池	200g
	<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん	350g
	<input type="checkbox"/> 笛(ホイッスル)	10g
	<input type="checkbox"/> 軍手	65g
	<input type="checkbox"/> くつ・スリッパ	850g
	<input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳	80g
貴重品	<input type="checkbox"/> 現金(1,000円札と、100円玉)	45g
	<input type="checkbox"/> 通帳類・証書類	20g
	<input type="checkbox"/> 印かん	5g
非常食	<input type="checkbox"/> 飲料水(1人あたり必要最低限500ml×3本程度)	1500g
	<input type="checkbox"/> 非常食(アルファ化米、乾パン、缶詰など)	400g
	<input type="checkbox"/> はし・スプーン	
常備薬 救急セット	<input type="checkbox"/> 救急用品セット(ばんそうこう、消毒薬、ガーゼなど)	300g
	<input type="checkbox"/> マスク	15g
	<input type="checkbox"/> 持病の薬、常備薬	100g
	<input type="checkbox"/> おくすり手帳	70g
衣類	<input type="checkbox"/> 衣類(上着・下着・靴下)、雨グッズなど	670g
生活用品	<input type="checkbox"/> 洗面用具(タオル、歯ブラシ)	20g
	<input type="checkbox"/> 万能ナイフ、はさみなど	120g
	<input type="checkbox"/> ライター、マッチ	20g
	<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	60g
	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ、ティッシュペーパーなど	250g
	<input type="checkbox"/> ビニール袋	70g
	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	800g
その他	<input type="checkbox"/> 避難行動計画(保存版)・防災マップ	70g

*ねる部屋には、スリッパやくつを準備しましょう。

重さの目安は5kgです

